

RO の業務マニュアル

対象者	CRO（射場長、Chief Range Officer）、RO（射場役員、Range Officer）
業務の概要	射場の整備や競技の進行を担当する
ポイント	・ スムーズな競技進行・環境整備を心がける ・ 業務の取捨選択はグレードや規模、会場、運用に応じて CRO が柔軟に判断する
業務の進め方	・ CRO が業務を把握し、RO に指示・監督を行う ・ RO は業務における不明点や相談がある際には CRO に指示を仰ぐ（裁定は RO ではなく Jury が行う）
基本の持ち物	ボールペン、ストップウォッチ、射座割、バインダー、IR（Incident Report）

- ・ **本業務内容は全てを網羅しているわけではありません**
- ・ **どの競技会でも特に押さえておいてほしいポイントは、「重要」として★をつけています**
- ・ **競技役員として状況や求められる品質に応じて判断するために役立ててください**

大カテゴリ	重要	タイミング	やること	やること詳細	場所	チェック項目	備考
ミーティング		1 日の始まり	ミーティング	(CRO) RO を集めて業務内容の認識合わせと備品の配布をする		・業務内容の説明 ・スケジュール（射場整備を含めた射群ごとの集合時間、終了時間、休憩時間等） ・担当割り当て（誰がどの射群でどの射座を担当するか）（例：田中さんが 1 射群で 1-10 射座を担当する） ・射座割、ストップウォッチ、筆記用具、IR、IR 事例集を配布する ・その他注意事項や連絡事項、等	・各メンバーの経験やスキルも確認する ・IR 事例集は HP 会員向け情報>ルール情報（図 1）
		1 日の終わり	ミーティング	(CRO) RO を集めて連絡・共有を行う		・連絡・共有 ・引き継ぎ事項 ・翌日のスケジュール（集合時間等）など	・メンバーから出た不明点や質問を解消する

図 1：IR 事例集と IR 記入例（10mAR の本射中に圧縮空気を放出した時）

10m射場での射場事故対応		射場事故報告書		IR	
本射中 圧縮空気の放出(本射の間) 事故の具体的状況 <X> 発目に圧縮空気の放出があった。ジュリー(名前)により、<X> 発目が 0 点となり、本射 59 発で止めるように指示されている。 適用ルール番号 6.11.2.2 罰則の付加 <X> 発目 0 点		報告書シリアル番号 (記入しなければならない) 2024/2/24 事故の時刻 9:30			
種目	AR60W	射群	1	射座	10
選手氏名	佐藤花子			ステージ	本射
Bib 番号	1996	所属	日大大学	シリーズ	1
事故の具体的状況 本射1発目に圧縮空気の放出があった。ジュリー（鈴木さん）により、本射1発目が0点となり、本射59発目で止めるよう指示されている 適用ルール番号： 6.11.2.2 罰則の付加： 本射1発目0点					
最初に報告した射場役員の氏名		あなたの氏名		時刻	9:35
競技ジュリーの氏名				時刻	
DTS 係の氏名					

大カテゴリ	重要	タイミング	やること	やること詳細	場所	チェック項目	備考
公開練習、PET		練習開始まで	射座割確認	(CRO) 射座割を確認する		・ 公式練習・PET の射座割を確認する	・ コンペティションマネジャーに運用や射座割を確認しておく（本選と同じ射座か？先着か？抽選の場合どのような条件で誰がいつ割り当てを行うか？）
			射場整備	標的をセットする	標的	・ 種目に合った標的マスクをつける	・ EST 役員と連携する
				必要な備品を揃える	射座	・ テーブルや椅子、プローンマットなどその種目に必要な備品を設置する	
				電子標的が射撃できる状態になっているか確認する	射座		・ RTS ジュリーが責任者だが、RO でもチェックしておくとい
		練習時間中	時間管理	(CRO) 入場時間、開始時間、終了時間の号令する	射場	・ 時間管理と号令をする。 Athletes to the line (例：開始 10 分前) Start Stop, Unload (競技会で指定された練習時間)	・ 入場時間の号令は、種目間で同じ準備時間にする
		練習終了後	片付け	標的、射座を片付ける	標的射座	・ 標的マスクの取り替えや改修、備品の片付けを行う	・ 次の種目がある場合にはその準備を行う

大カテゴリ	重 要	タイミング	やること	やること詳細	場所	チェック項目	備考
本選	★	開始まで	射場整備	標的をセットする	標的	・ 種目に合った標的マスクをつける ・ 必要に応じてコントロールカード、バックターゲットや黒ロール紙をセットする	・ EST 役員と連携する ・ RTS が最終チェックを行う ・ TD にコントロールカード、バックターゲットや黒ロール紙のセットについて判断を仰ぐ
				標的マスク、フレーム、壁の治痕をする	標的	・ 標的マスクは治痕シールを使って穴を塞ぐ ・ 標的フレームや壁は弾痕に印をつける（図1）	・ 標的外の射撃があった際に弾痕を特定するための運用
				電子標的が射撃できる状態になっているか確認する	射座	・ 種目、モード（本選/ファイナル）、名前等が合っているか	
	★			必要な備品を揃える	射座	・ テーブルや椅子、ブローンマットなどその種目に必要な備品を設置する	
		準備時間	射手のチェック	自分が担当している射座の射手の確認を行う	射座	・ 割り当てられた射座について、各種チェックを行い、完了したら CRO に伝える（例） ・ 本人が入場しているか、欠場ではないか（欠場は DNS として IR を起票し回覧する） ・ 受付や用具検査を完了しているか ・ 受付や用具検査を受けた銃を使用しているか（銃番号を確認） ・ Bib をルール通りに着用しているか等	・ CRO が事前にチェック事項や射座の割り当て（どの RO がどの射座を担当するか）を RO に指示する ・ チェック事項はグレードや規模に応じて競技会ごとに CRO が判断する ・ 受付で確認済みのものは省略して良い（例：射手手帳や認定シール）
	★	試射時間	本射への切り替え確認	自分が担当している射座の標的が本射モードに切り替わっていることを確認する	射座	・ 確認できたら CRO に伝える	・ 走らなくて OK
		本射中	競技後検査の対象を確認する	（CRO）対象者を確認し担当 RO に連携する	射座	・ EC ジュリーからの伝達を受けて、対象選手を RO に伝える	・ EC ジュリーが対象者を決める（図3） ・ 手元の射座割に対象者をメモし、必ず検査へ連れて行っているか確認する

						・対象選手のエスコートに関する注意点も伝える	
	★		射撃を終了した選手の確認	自分が担当している射座の射手から個票にサインをもらう	射座	・サインをもらい、取りまとめる場所へ運ぶ	・CRO が RTS ジュリーにサインが必要かどうか、個票の取りまとめ方を事前に確認しておく ・集計に使用していることもあるため、成績表作成担当とも連携する
			競技後検査へエスコートする	自分が担当している射座の射手をエスコートする	射座	・競技後検査の対象射手に、射撃が終了したら対象である旨を伝え PCC 通告用紙を見せる ・検査対象の用具を持参させる ・ジャケットの検査がある場合はジャケットズボンを脱がない・ボタンを外さないように指示する ・用具検査室へ先導せず後方からエスコートする（ECO にパスする）	・射撃終了前に選手に知られることがないように PCC 通告用紙（図 3）は手元で保管する（不正防止のため） ・CRO が EC ジュリーから競技後検査対象者を知らせてもらい、CRO から RO に伝達する

図 2：標的外、標的枠、標的マスクの治痕例

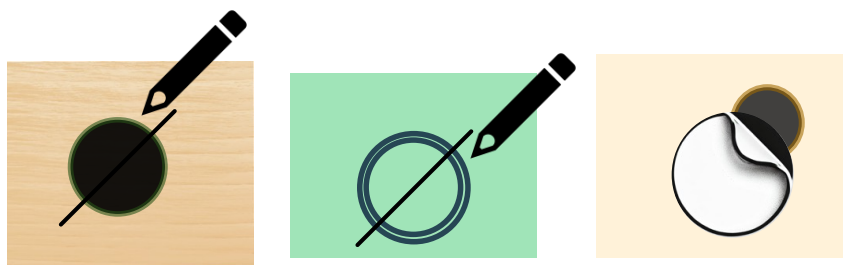


図 3：競技後検査の対象がわかるカード「PCC 通告用紙」（HP 内「[各種文書のダウンロードのご案内](#)」）

競技会後検査通告用紙
Post Competition Check
ライフル用

種目 _____

日付 _____ 射群 _____



☐ 長さ
☐ 厚さ
☐ ターバーラップ



☐ ターピング
☐ チェック

射座番号 ゼッケンNo.

選手氏名（所属） ()

用具検査係 _____

用具検査ジュリー _____

競技会後検査通告用紙
Post Competition Check
ピストル用

種目 _____

日付 _____ 射群 _____



☐ トリガー重さ
☐ ピストル基準箱



☐ グリップ形状
☐ ターピング
☐ チェック

射座番号 ゼッケンNo.

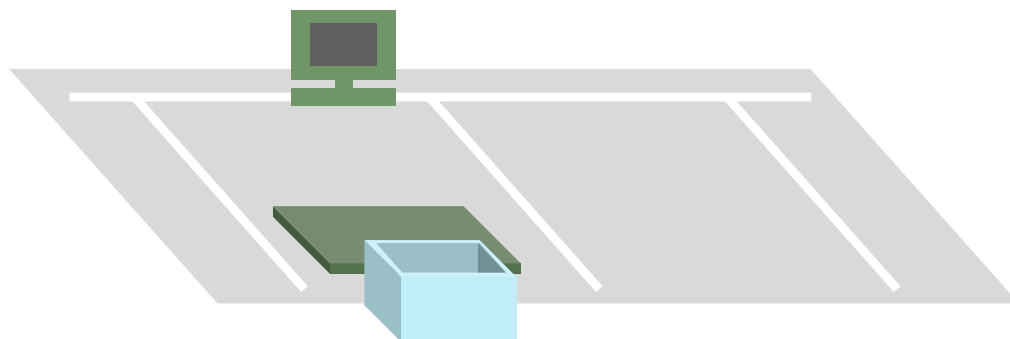
選手氏名（所属） ()

用具検査係 _____

用具検査ジュリー _____

大カテゴリ	重 要	タイミング	やること	やること詳細	場所	チェック項目	備考
ファイナル		開始前	射場整備	出頭場所（リポーティングエリア）を用意する	射座の付近	・ 選手が荷物を置き出頭する場所を確保し、案内する	・ ファイナリストの人数分の射座があると良い
				標的をセットする	標的	・ 種目に合った標的マスクをつける ・ 必要に応じてコントロールカード、バックターゲットや黒ロール紙をセットする	・ RTS ジュリーが最終チェックを行う ・ TD にコントロールカード、バックターゲットや黒ロール紙のセットについて判断を仰ぐ
				標的マスク、フレーム、壁の治痕をする	標的	・ 標的マスクは治痕シールを使って穴を塞ぐ ・ 標的フレームや壁は弾痕に印をつける	・ 本選と同様
				電子標的が射撃できる状態になっているか確認する	射座	・ 種目、モード（本選/ファイナル）、名前等が合っているか	
				必要な備品を揃える	射座	・ テーブルや椅子、プローンマットなどその種目に必要な備品を設置する	・ 配置例（図 4）
			スタンバイ	RO 席に着席する	射座	・ RO 席（競技ジュリーの隣）に着席する	
		開始時	入場案内	選手に入場のタイミングを案内する	入場口	・ 入場口で RO がいつ、どこを通過して入場するのか指示する	

図 4：ファイナルの備品の配置例



2025/04/19 初版

問い合わせ先：競技運営委員会 審判部会 kyogi@riflesports.jp